

在宅療養支援風の風グループ **(2020年4月6日発令=フェーズ3)**

**コロナウイルス拡大に伴う感染しない、感染させないための訪問看護の対応 (Ver. 1.0)**

コロナ感染の拡大に伴い、訪問看護利用者やご家族に感染が疑われる事例が発生しています。そこで、今後訪問看護の実施においては、感染の拡大・蔓延状況、ご利用者ご家族の状況を、下記5つのフェーズに分類し、適正なフェーズ判断に基づき、装備、対応をさせていただきます。利用者及びご家族の皆様、ケアマネージャー、主治医等の連携事業所の皆様にはあらかじめご理解とご協力の程をお願いいたします。

**各フェーズと装備・対応 (Ver. 1.0)**

段階	状 況	装 備・対 応	補 足	備 考
フェーズ1	感染症が地域で発生していない。平常時。	マスクを装着する必要がない通常訪問時。手荒い、手指消毒をしっかり行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■訪問時、退去時に持参の石鹼で手洗を行い、ペーパータオルで拭きとる。</li> <li>■処置ごとに、アルコールで手指消毒を行う。</li> </ul>	
フェーズ2	インフルエンザ、ロタウイルスの感染が地域で発生している。	訪問時サージカルマスクを装着、及び手洗い、手指消毒をしっかり行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者宅入室前にサージカルマスクを着用。</li> <li>■訪問時、退去時に持参の石鹼で手洗を行い、ペーパータオルで拭きとる。</li> <li>■処置ごとに、アルコールで手指消毒を行う。</li> <li>■マスクは訪問終了まで外さない。</li> <li>■マスクは、退去後、車両に戻る前に表面に触らないように外し、表面、内面、ゴムバンド部共に十分にアルコール消毒液を噴霧し、配布される<u>マスク等保管用バスケット</u>に入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業所入室後直ちに手洗い・手指消毒を実施する。</li> </ul>

<p><b>フェーズ3</b></p>	<p>感染経路不明、感染力の強い感染症が地域に発生している状況。</p>	<p>訪問時 N95 マスク装着、グローブ装着</p>	<p>■患者宅入室前にN95 マスクとプラスチックグローブを装着。</p> <p>■すべてのケアや指導等を終えるまでプラスチックグローブは装着したままでケアを実施。</p> <p>■ケア中は、保温に配慮しながら窓を開ける等の換気を実施。</p> <p>■すべてのケアを終えたら、訪問先の洗面所でプラスチックグローブを外し、持参したビニール袋へ入れ、持参した石鹸で手洗い、ペーパータオルで拭きペーパータオルもビニール袋に入れビニール袋の口を密閉し、持ち帰り破棄する。</p> <p>■ご自宅を退居後、直ちに(必ず車両乗車前に)アルコールで手指消毒実施。</p> <p>■訪問車両に戻るまえに、N95 マスクを適切に外し、表面、内面、ゴムバンド部に十分にアルコール消毒液を噴霧し、配布される<u>マスク等保管用バスケット</u>に保管し、次の訪問に使用する。</p>	<p>■症状の確認</p> <p>訪問前に電話で確認する。もしくは到着時に靴を脱ぐ前に様子を確認する。</p> <p>①症状がない場合 【フェーズ3】を適用</p> <p>②感染を疑われる場合 【フェーズ4】を適用</p> <p>■【フェーズ3】の適用で訪問した際は、訪問時ケア開始前に再度感染症状の有無確認</p> <p>①症状がない場合 【フェーズ3】を継続適用</p> <p>②感染を疑う症状がある 【フェーズ4】へ変更適用</p> <p>■利用者、家族の感染や濃厚接触者であることがすでに確定している場合は 【フェーズ4】を適用</p>
<p><b>フェーズ4</b></p>	<p>感染力の強い感染症が疑われる(症状がある等)患者宅・感染力が強い</p>	<p>訪問時 PPE(個人用防護服) 装備</p> <p><u>※法人より指示ある患者にはタイペック防護服を</u></p>	<p>■訪問は極力一日の訪問の最後になるよう調整。</p> <p>■有症者と確認した場合は、主治医、CMへの報告、調整をします。</p>	<p>■スタッフは原則として直行直帰とし、MTG等はLINE works を用いて行</p>

	<p>感染症に罹患している患者宅への訪問。</p>	<p><u>装着した訪問を実施</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ご利用者宅入室前に、PPE（個人用防護服）を装着する。<u>重篤な呼吸器症状がある患者についてはフェイスガードも装着する。</u>自身の脱いだ靴はビニール袋にいれ、玄関外などに置き、患者宅内には持ち込まない。</li> <li>■ケア中は、保温に配慮しながら窓を開ける等の換気を実施。</li> <li>■すべてのケアを終えたら、患者宅を退出したのち、玄関先等でPPE装備を外し持参したビニール袋に入れ、密封する。保健所の指導により<u>汚染ゴミは患者宅で処分することを原則とするため、玄関先にゴミを置き、患者家族等に家の中に入れてもらう。但し本人家族が正しく処分できない恐れがある場合は事業所へ持ち帰り、汚染ゴミ専用ゴミ箱へ破棄する。</u></li> </ul>	<p>うなどし、スタッフ同士の接触、事業所内における密接な接触状態を作らないようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■他事業所への訪問もやむを得ない事情を除き、中止とする。</li> <li>■他法人と兼務で働くスタッフの出勤停止。</li> <li>■職員及び職員同居家族の不要不急の外出・外食の禁止。</li> <li>■事業所入室直後直ちに手洗い・手指消毒を行う。</li> <li>■<u>N95 マスク不足時、感染確定患者以外は消毒再利用を原則とする。</u></li> </ul>
<p>フェーズ5</p>	<p>退避が必要と判断される状況。医療崩壊と判断される状況</p>	<p>訪問看護活動・出勤取りやめ。電話対応のみ。自宅待機し、命を守る行動をとる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■訪問看護、出勤の停止</li> <li>■利用者へ訪問活動停止、電話対応のみになる事を連絡</li> <li>■ステーション電話、緊急時対応電話を看護師携帯へ転送</li> <li>■最大限自身の命、健康を守る行動をとる</li> </ul>	<p><u>法人・事業所からの指示は社内クラウドデスクネットネオもしくは電話にて実施するため、常時確認をすること。</u></p>

## 装備マニュアル

■感染を疑う症状の定義 : 発熱、呼吸器症状(咳、くしゃみ、喀痰、鼻水、呼吸苦等)

■防護服類の操作方法

### 【フェーズ2】

①サージカルマスクの着脱方法 [https://www.youtube.com/watch?v=rnsqu1I5pNg&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=rnsqu1I5pNg&feature=emb_logo)

### 【フェーズ3・フェーズ4】

①プラスチックグローブの外し方 <https://www.youtube.com/watch?v=iccXkuisavM>

②N95 マスクの着脱方法 [https://www.youtube.com/watch?v=lGt\\_qDiD96s](https://www.youtube.com/watch?v=lGt_qDiD96s)

③N95 マスクのフィットテスト詳細 <https://www.youtube.com/watch?v=J8XoIy2LhCE>

④N95 マスクの基本知識とフィットテストの必要性 <https://www.youtube.com/watch?v=kKHnI1piKC8>

⑤PPE着脱方法 <https://www.medline.co.jp/empower/ppe>